

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月8日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9758 URL <http://www.japan-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 正坦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 村中 達郎 TEL 03-5309-0300
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,737	1.6	309	△16.7	337	△12.1	234	△37.5
24年12月期第3四半期	5,646	△2.5	371	△18.4	383	△20.5	374	△7.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	8.99	—
24年12月期第3四半期	14.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	4,963	3,754	75.7	144.21
24年12月期	4,728	3,565	75.4	136.93

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,754百万円 24年12月期 3,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年12月期	—	0.00	—		
25年12月期（予想）				2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	9.3	620	31.4	620	27.7	570	21.1	21.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	26,051,832株	24年12月期	26,051,832株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	13,960株	24年12月期	13,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	26,037,872株	24年12月期3Q	26,038,133株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は(添付資料)3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策及び金融政策への期待から円安・株高が進行し、国内経済は回復の兆しが見られました。その一方で、円安に伴う輸入価格の上昇や新興国経済の成長鈍化など海外経済環境の不安定要素などを背景に、先行き不透明感を完全に払拭しきれない状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、クラウド・コンピューティングや企業におけるモバイル/タブレット端末市場等に案件増加の傾向がありつつも、保守・運用コスト等の削減要請が依然として続く等、投資に対する慎重な姿勢を保つ状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、2016年度までに、ITサービス企業ランキング150傑に入ることを目指すべく、「お客様の新たな価値を創造し提供し続ける」及び「売上高の倍化を図る」という新ビジョンを打ち出し、「Reach for 150」をスローガンに掲げました。当事業年度は、今までの既存概念を打破するために活動テーマを「脱・・から進化へ」とし、「蓄えてきた自律自走の力を発露させる年」と定め、社員一人一人が実行レベルまで落とし込んだ戦略・施策に取り組んでおります。

また、さらなる生産性、収益性の向上をめざし人事給与制度を改定すると共に、事業構造改革を開始いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は5,737百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。また営業利益は309百万円（前年同四半期比16.7%減）、経常利益は337百万円（前年同四半期比12.1%減）、四半期純利益は、事業構造改善引当金繰入額を特別損失として61百万円計上したこと等から、234百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。

サービス品目別の売上高は次のとおりであります。

①アプリケーションソフトウェア開発

アプリケーションソフトウェア開発は、主に官公庁、金融業、通信、公益、製造、流通及び官公庁などの業務ソフトウェア開発が中心であります。当第3四半期累計期間におきましては、売上高は4,235百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

②パッケージソフトウェア開発

パッケージソフトウェア開発は、主に自治体を中心とする行政経営支援サービス（FAST）及びPCセキュリティ/アクセス管理ソリューション（ARCACLAVISシリーズ）中心であります。当第3四半期累計期間におきましては、売上高は863百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。

③コンピュータ機器等販売

コンピュータ機器等販売は、主に自治体及び一般企業を取引先として、コンピュータ機器とその周辺機器やネットワーク製品を中心とした販売が中心であります。当第3四半期累計期間におきましては、売上高は638百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末において、総資産は4,963百万円となり、前事業年度末と比べ234百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が増加した一方で現金及び預金が減少したこと等により62百万円増加し2,719百万円となりました。また、固定資産は、無形固定資産が増加したこと等により172百万円増加し2,243百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金及び事業構造改善引当金が増加した一方で、預り金が減少したこと等により前事業年度末に比べ44百万円増加し1,208百万円となりました。

また、純資産は、四半期純利益が発生したことや前事業年度の期末配当金を支出したこと等により189百万円増加し3,754百万円となり、自己資本比率は75.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成25年2月15日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,791	1,055,658
受取手形及び売掛金	1,020,277	1,249,707
商品	18,031	32,311
仕掛品	136,778	123,557
その他	237,129	273,750
貸倒引当金	△14,689	△15,218
流動資産合計	2,657,318	2,719,767
固定資産		
有形固定資産	141,094	117,510
無形固定資産	341,667	526,532
投資その他の資産		
長期預金	1,200,000	1,200,000
その他	388,665	399,390
投資その他の資産合計	1,588,665	1,599,390
固定資産合計	2,071,427	2,243,433
資産合計	4,728,746	4,963,201
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,645	379,902
短期借入金	150,000	150,000
未払金	260,842	170,899
未払法人税等	20,498	47,493
前受金	133,341	92,066
預り金	228,418	58,490
賞与引当金	56,008	177,220
事業構造改善引当金	—	47,271
その他	4,478	22,838
流動負債合計	1,103,233	1,146,182
固定負債		
長期未払金	214	214
資産除去債務	57,156	57,837
その他	2,767	4,085
固定負債合計	60,138	62,137
負債合計	1,163,372	1,208,319

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,302,591	1,302,591
資本剰余金	1,883,737	1,883,737
利益剰余金	409,330	591,289
自己株式	△3,707	△3,802
株主資本合計	3,591,951	3,773,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,577	△18,935
評価・換算差額等合計	△26,577	△18,935
純資産合計	3,565,374	3,754,881
負債純資産合計	4,728,746	4,963,201

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,646,513	5,737,384
売上原価	4,242,338	4,317,424
売上総利益	1,404,174	1,419,959
販売費及び一般管理費	1,032,776	1,110,443
営業利益	371,398	309,516
営業外収益		
受取利息	1,845	1,123
受取配当金	8,369	8,120
助成金収入	2,888	10,111
貸倒引当金戻入額	—	9,000
その他	1,714	1,559
営業外収益合計	14,818	29,913
営業外費用		
支払利息	1,905	1,667
その他	696	478
営業外費用合計	2,602	2,145
経常利益	383,614	337,283
特別損失		
固定資産除却損	1,486	—
事業構造改善引当金繰入額	—	61,448
その他	—	47
特別損失合計	1,486	61,495
税引前四半期純利益	382,127	275,787
法人税、住民税及び事業税	7,432	41,752
法人税等合計	7,432	41,752
四半期純利益	374,694	234,035

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、情報サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。